



経済日誌

2025年12月15日～2026年1月14日の主な出来事



12.15 県内景況感1年半ぶり改善 短観

日銀熊本支店が15日発表した12月の県内企業短期経済観測調査（短観）は、景況感を示す業況判断指数（DI）が全産業でプラス20となり、9月の前回調査のプラス17から改善した。改善は2024年6月以来、1年半ぶり。

12.21 アクセス鉄道中間駅設置場所を明示

JR肥後大津駅と熊本空港を結ぶ空港アクセス鉄道計画について、熊本県と大津町は21日説明会を開き、中間駅を同町陣内の県道瀬田竜田線付近に整備すると明らかにした。中間駅の具体的な場所が示されるのは初めて。

12.21 大津西一合志間着工 大津熊本道路

大分市と熊本市を結ぶ高規格道路「中九州横断道路」の一部「大津熊本道路」のうち、大津西ICと合志ICを結ぶ4.7キロの着工式が21日、合志市総合センター「ヴィーブル」であった。完成時期は未定。

12.23 県内景況感1年半ぶり改善 短観

農林水産省が23日発表した熊本県の2024年の農業産出額は、前年比0.6%増の4,116億円と34年ぶりに過去最高を更新した。価格の上昇などを受けて5年連続で増加し、1990年の4,000億円を初めて超えた。順位は過去10年

12.24 アーバンスポーツパーク、4月開業

菊陽町は24日、原水地区に整備している「くまモンアーバンスポーツパーク」が2026年4月11日にグランドオープンすると発表した。4月18日に日本スケートボード協会主催のプロツアーを開催する。

12.26 地下水採取、年上限150万トン増

熊本県は26日、2026年度から5年間の次期「熊本地域地下水総合保全管理計画」の素案を公表した。地下水採取量の年間上限の目標値を1億6,700万トンに設定した。2024年度の目標値から150万トン増える。

12.26 熊本市電、益城などへ延伸案

熊本市などでつくる協議会は26日、「熊本市圏都市交通マスタープラン」の素案を公表した。市電を将来的に益城町役場周辺や、西区役所周辺、JR南熊本駅まで延伸する将来構想を示した。

熊本市倒産負債15億円

東京商工リサーチ熊本支店が8日発表した熊本県内の2025年の企業倒産（負債額1千万円以上）は、負債総額が前年の約2倍の175億9,500万円となり、過去10年で最多となった。件数は前年より8件少ない172件で、4年ぶりに減った。

以降は会員専用ページにて公開しております。
ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより
アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方はこちらから](#)